

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 3 (2021) 年 8 月 号

編 集
発 行 人

武田 隆久

〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 教育部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>

受付時間

10:00~17:00

(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)

発行日

毎月 1 日

第 47 回日本診療情報管理学会学術大会開催挨拶

松本 隆利

第 47 回日本診療情報管理学会学術大会 大会長
社会医療法人財団新和会八千代病院 名誉院長

“未来を拓く診療情報管理 —医療・介護・生活支援に広がる情報共有と ICD-11—” をテーマに、第 47 回日本診療情報管理学会学術大会を開催いたします。当初は 9 月 16~17 日の 2 日間にわたり名古屋白鳥の国際会議場にて開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の猛威はまだ収束に至らず、最終的にオンデマンド開催のやむなきに至りました。

劇的に超スピードで変化する日本の社会の中で、近未来に向けて診療情報管理の果たすべき役割を考え、今回のテーマ選定を行いました。

診療情報の重要性は年々増しており、高齢化の進展により医療・介護・生活支援の 3 領域にわたる情報共有が重要課題になっています。情報を共有し活用していくことは、地域医療や地域の介護福祉の進化、医療機関や介護福祉施設、行政の運営にとりましても極めて重要です。

また病名の基本となっている WHO の ICD-10 が改訂され ICD-11 が公表されました。医療の進展に伴い新たな病名コードが追加され、分類が改められています。また高齢化が進む中で、生活機能に関して新たな章が加えられています。日本語版 ICD-11 も完了間近であり、運用開始に向けて着々と準備が進められています。

デジタル庁が 2021 年 9 月には設置されます。情報をどう扱うかは日本の未来にとって極めて重要です。医療・介護福祉などでもマイナンバーカードの活用による本人確認、遠隔診療、画像診断、QI 活動、医療経営、地域医療の構築等、情報活用は年々高度化し利便性が増しています。本学術大会では、こういった話題についてご議論いただくと考えています。

また、理事長講演：末永裕之日本診療情報管理学会理事長「パンデミックに思う“情報”」、特別講演：平井卓也デジタル改革担当大臣「我が国のデジタル改革について」をはじめ、基調講演、特別企画、多数のシンポジウム、教育講演等を予定しております。

学会の参加、視聴はオンデマンド形式です。10 月 7 日より 11 月 6 日の期間で、参加者毎の ID にてオンライン参加していただけます。オンラインのメリットは職場など都合のよい場所・時間で繰り返し視聴でき、同時重複プログラムでも視聴が可能になります。メリットも多く、ふるってのご参加をお待ちしております。

コロナ禍に打ち勝ち、診療情報管理の“未来を拓く”に向けて、皆様のご活躍を祈念しております。